

# 第152次製造貨幣大試験について

理財局国庫課長 山川 清徳 / 国庫課通貨企画調整室長 奥村 健治

令和5年11月27日、独立行政法人造幣局（大阪市北区）において、瀬戸財務大臣政務官を執行官として、第152次製造貨幣大試験を実施した。

## 1. 製造貨幣大試験の意義

貨幣は、「通貨の単位及び貨幣の発行等に関する法律」に基づいて、財務省の発注により造幣局が製造している。人々が貨幣を日常的な買い物などで日々安心して使うためには、貨幣に対する信頼の維持が不可欠であり、そのためには、一つ一つの貨幣の品質が一定していること、また、容易に偽造できないものであることが必要である\*1。

このため、造幣局では一般に流通している1円から500円までの通常貨幣のほか、皇室の御慶事や国際的な行事などを記念して発行する記念貨幣の製造工程の中で、これらの貨幣の量目（重さのこと）・品位・直径・厚さについて厳重なチェック（検査）を行っている。これに加え、発注者である財務省としても、貨幣に対する信頼維持の観点から、毎年1回、実施日の14日前までに製造された通常貨幣及び記念貨幣の量目が「製造貨幣大試験要領」\*2に定めた公差の範囲内にあるかどうかを検査しており、これを製造貨幣大試験（以下「大試験」）と呼んでいる。

## 2. 大試験の歴史

大試験の歴史は古く、大蔵省（現在の財務省）のもとで造幣寮（現在の造幣局）が操業を開始した翌年の明治5年（1872年）に初めて開催された。明治維新

直後の当時、市中には徳川期に発行された量目や品位がまちまちな貨幣や地方の藩札、さらには外国貨幣などが流通し、国内における安定的な経済活動を阻害していたことから、これらを整理し、統一的な貨幣制度を整えることは明治新政府の喫緊の課題であった。このため、政府は、明治4年（1871年）に「新貨条例」を制定し、新通貨の呼称を「円」とすることや1円＝金1.5グラムとすることを定めた\*3。そして、この新たな貨幣に対する信頼を確保するため、造幣寮において、日々行われる検査とは別に、貨幣が定められた基準のとおり製造されていることを公に示す場として大試験が行われることとなった。

「造幣局百年史」によると、第1次の大試験は、明治4年5月28日制定の「毎年製貨試験分析定則」\*4に基づき、明治5年5月に大蔵大輔兼造幣頭井上馨が執行官となり、試験委員に造幣首長キンドル（T.W.Kinder）\*5らが指名されて行われ、当時の製造貨幣がその品位及び量目についてすべて公差内にあることが証明された。

その後も、松方正義（明治10年など11回）、桂太郎（明治41年～43年）、高橋是清（大正2年、8年）、浜口雄幸（大正13年～14年）らを執行官として回数を重ね、先の大戦中も実施され、今回が152回目となった。

\*1) 容易に偽造されないよう、貨幣には、たとえば角度を変えると数字が見えたり隠れたりする加工技術（潜像加工）など、様々な偽造防止技術が採用されている。さらに、造幣局では偽造防止技術の一層の向上のための研究等も行っている。現在の貨幣に採用されている偽造防止技術の具体的内容については造幣局ホームページをご覧ください。（[https://www.mint.go.jp/operations/production/technology/technology\\_index.html](https://www.mint.go.jp/operations/production/technology/technology_index.html)）  
\*2) 財務省と造幣局は「通貨の単位及び貨幣の発行等に関する法律」第4条第2項に基づき、毎年度貨幣の製造に関する事務に係る契約を締結しており、その仕様書において、同要領を規定している。  
\*3) 明治政府は、旧貨幣等と円との交換レートを定める布告も発布した。金札については1両＝1円とし、旧貨幣については、慶長小判、享保小判、天保小判といった種類ごとに、金や銀の含有量（品位）を基準として個別に定めた。  
\*4) イギリスのロイヤル・ミント（造幣局）の「Trial of the Pyx」をモデルとしたもの。  
\*5) 元香港造幣局長。いわゆるお雇い外国人として、明治3年に造幣首長として雇用され明治8年に退職。



第1次製造貨幣大試験の結果を伝える当時の新聞記事（明治5年7月6日）  
 ※上段末尾に「右検査して正しきものなり。トーマス・ウヰルリヤム・キンドル（当時の造幣  
 首長）造幣権頭 益田 孝」と記載がある。

ら500円までの6種類）及び記念貨幣（資料1の2種類）である。記念貨幣の一部については、瀬戸財務大臣政務官が、大試験の会場で貨幣の入った袋を直接開封し、その中から種類ごとに定められた枚数を選定した。



執行官による対象貨幣の選定

## （2）大試験貨幣の秤量

秤量試験は、貨幣の種類に応じて、大型の両皿天秤により一定枚数の貨幣の重さを量る集合秤量と、電子天秤により1枚ごとの重さを量る個別秤量で行う。

それぞれの秤量によって計測された量目と法定量目との差が、定められた公差の範囲内（例：法定量目が1枚あたり7.1グラムの500円バイカラー・クラッド貨幣の場合、1,000枚を集合秤量し、法定量目7,100グラムとの差が±13グラムの範囲内）にあるかどうかを確認する。

秤量結果が公差の範囲内にあることが確認されれば、前回の試験の実施以降に製造された貨幣は、すべて適正であったと認めることができる。



第71次製造貨幣大試験 執行官：賀屋 興宣（かや おきのり）大蔵大臣（昭和17年11月）

## 3. 大試験の実施方法

### （1）対象貨幣の選定

造幣局では、日々の製造枚数に応じて、種類ごとに一定割合（例：500円バイカラー・クラッド貨幣の場合、20,000枚又はその端数につき1枚の割合）の貨幣を選取し、袋に封入・保管しており、大試験の当日、この袋を開封し、試験を実施する。

第152次大試験において秤量試験を受けた貨幣は、前回の試験実施以降に製造された通常貨幣（1円か



両皿天秤による秤量



電子天秤による秤量



執行結果確認宣言

#### 4. 大試験の結果（確認宣言）

第152次大試験においては、1,000円銀貨幣について個別秤量を行うとともに、それ以外の通常貨幣を集合秤量によって計測したところ、法定量目との差が個別秤量で最大0.14グラム、集合秤量で最大5グラムであったため、すべての貨種が基準を満たし「適正」と認められた。

と認められた。

この結果を受けて、執行官である瀬戸財務大臣政務官が執行結果確認宣言を行うとともに、今後とも製造技術の向上に努めるよう造幣局に期待を表明しつつ、第152次大試験は終了した。

【資料1：第152次製造貨幣大試験の対象（記念貨幣）】

○鉄道開業150周年記念1,000円（銀）貨幣

(表面)	(裏面)
【錦絵「高縄鉄道之図」】	【旧新橋停車場】

○2025年日本国際博覧会記念1,000円（銀）貨幣

(表面)	(裏面)
【2025年日本国際博覧会ロゴマークと 夢洲（ゆめしま）の万博会場】	【2025年日本国際博覧会ロゴマーク】

【資料2：製造貨幣大試験年表】

回数	実施年月日	試験執行官	
		役職	氏名
第1次	明 5. 5. 13 新暦 6. 18	大蔵大輔	井上 馨
第2次	明 6. 9. 4	大蔵省 三等出仕	陸奥 宗光
第3次	◇ 7. 8. 14	大蔵少輔	吉田 清成
第4次	◇ 8. 1. 29	造幣権頭	石丸 安世
第5次	◇ 8. 6. 29	大蔵卿代理 出納頭	馬渡 俊邁
第6次	◇ 9. 6. 26	大蔵卿代理 大蔵大丞兼国債頭	郷 純造
第7次	◇ 10. 7. 3	大蔵大輔	松方 正義
第8次	◇ 11. 6. 25	大蔵卿代理 大蔵権大書記官	与倉 守人
第9次	◇ 12. 6. 25	大蔵大輔	松方 正義
第10次	◇ 13. 7. 5	大蔵卿	佐野 常民
第11次	◇ 14. 6. 29	大蔵少輔	吉原 重後
第12次	◇ 15. 7. 5	大蔵卿	松方 正義
第13次	◇ 16. 6. 27	◇	◇
第14次	◇ 17. 7. 8	大蔵卿伯爵	◇
第15次	◇ 18. 6. 24	◇	◇
第16次	◇ 19. 6. 30	大蔵次官	郷 純造
第17次	◇ 20. 5. 14	大蔵大臣 伯 爵	松方 正義
第18次	◇ 21. 7. 21	◇	◇
第19次	◇ 22. 12. 5	大蔵大臣代理 大蔵省参事官	成川 尚義
第20次	◇ 23. 4. 11	大蔵大臣 伯 爵	松方 正義
第21次	◇ 24. 10. 23	大蔵大臣代理 国債局長	有島 武
第22次	◇ 25. 9. 8	◇	◇
第23次	◇ 26. 11. 4	大蔵次官	田尻 福次郎
第24次	◇ 27. 6. 23	大蔵大臣代理 主税局長	加藤 高明
第25次	◇ 28. 12. 16	大蔵次官	田尻 福次郎
第26次	◇ 29. 11. 21	大蔵次官	田尻 福次郎
第27次	◇ 30. 6. 16	大蔵大臣 伯 爵	松方 正義
第28次	◇ 31. 4. 1	大蔵大臣代理 税務監督局長	添田 寿一
第29次	◇ 32. 5. 5	大蔵大臣 伯 爵	松方 正義
第30次	◇ 33. 6. 30	大蔵大臣代理 主税局長	目賀田 種太郎
第31次	◇ 34. 11. 9	大蔵大臣 男 爵	曾弥 荒助
第32次	◇ 35. 6. 9	◇	◇
第33次	◇ 36. 9. 3	大蔵大臣代理 主税局長	目賀田 種太郎
第34次	◇ 37. 11. 17	大蔵大臣 男 爵	曾弥 荒助
第35次	◇ 38. 12. 4	大蔵次官	阪谷 芳郎
第36次	◇ 39. 9. 15	大蔵大臣	◇
第37次	◇ 40. 9. 14	◇	◇
第38次	◇ 41. 11. 9	大蔵大臣 侯 爵	桂 太郎
第39次	◇ 42. 12. 3	◇	◇
第40次	◇ 43. 11. 14	大蔵大臣 公 爵	◇
第41次	◇ 44. 12. 18	大蔵大臣代理 関税局長	桜井 鐵太郎
第42次	大 2. 5. 3	大蔵大臣 男 爵	高橋 是清
第43次	◇ 3. 11. 5	大蔵大臣代理 理財局長	神野 勝之助
第44次	◇ 4. 4. 14	大蔵大臣	若槻 礼次郎
第45次	◇ 5. 4. 13	◇	武富 時敏
第46次	◇ 6. 4. 13	◇	勝田 主計
第47次	◇ 7. 4. 30	◇	◇
第48次	◇ 8. 4. 21	大蔵大臣 男 爵	高橋 是清
第49次	◇ 9. 11. 4	大蔵大臣代理 大蔵省参事官	三土 忠造
第50次	◇ 10. 11. 16	大蔵大臣代理 銀行局長	黒田 英雄

回数	実施年月日	試験執行官	
		役職	氏名
第51次	大 11. 11. 24	大蔵大臣	市来 乙彦
第52次	◇ 13. 3. 27	大蔵大臣代理 主税局長	黒田 英雄
第53次	◇ 13. 11. 25	大蔵大臣	浜口 雄幸
第54次	◇ 14. 11. 24	◇	◇
第55次	◇ 15. 11. 25	◇	片岡 直温
第56次	昭 2. 11. 28	◇	三土 忠造
第57次	◇ 3. 11. 12	◇	◇
第58次	◇ 4. 11. 25	◇	井上 準之助
第59次	◇ 5. 11. 24	◇	◇
第60次	◇ 6. 11. 24	◇	◇
第61次	◇ 7. 11. 24	大蔵次官	黒田 英雄
第62次	◇ 8. 11. 21	大蔵大臣代理 銀行局長	大久保 偵次
第63次	◇ 9. 12. 3	大蔵次官	津島 寿一
第64次	◇ 10. 12. 2	◇	◇
第65次	◇ 11. 10. 2	大蔵大臣	馬場 鉄一
第66次	◇ 12. 11. 10	◇	賀屋 興宣
第67次	◇ 13. 12. 7	◇	池田 成彬
第68次	◇ 14. 11. 20	◇	青木 一男
第69次	◇ 15. 10. 14	◇	河田 烈
第70次	◇ 16. 4. 16	◇	◇
第71次	◇ 17. 11. 5	◇	賀屋 興宣
第72次	◇ 18. 12. 16	◇	◇
第73次	◇ 19. 3. 20	大蔵大臣代理 造幣局長	菅村 道太郎
第74次	◇ 20. 4. 23	◇	多田 喜一
第75次	◇ 21. 12. 10	◇	国府 種文
第76次	◇ 22. 12. 10	大蔵大臣代理 造幣局長	◇
第77次	◇ 23. 12. 1	◇	前尾 繁三郎
第78次	◇ 24. 11. 16	大蔵大臣代理 造幣庁長官	松崎 健吉
第79次	◇ 26. 1. 12	大蔵大臣	池田 勇人
第80次	◇ 27. 1. 12	◇	◇
第81次	◇ 28. 1. 7	◇	向井 忠晴
第82次	◇ 29. 1. 29	◇	小笠原 三九郎
第83次	◇ 29. 11. 5	◇	◇
第84次	◇ 30. 10. 28	◇	一万田 尚登
第85次	◇ 31. 10. 25	◇	◇
第86次	◇ 32. 11. 27	◇	◇
第87次	◇ 33. 11. 17	◇	佐藤 栄作
第88次	◇ 35. 1. 18	◇	◇
第89次	◇ 35. 10. 11	◇	水田 三喜男
第90次	◇ 36. 11. 17	◇	◇
第91次	◇ 37. 11. 6	◇	田中 角栄
第92次	◇ 38. 10. 16	◇	◇
第93次	◇ 39. 10. 28	◇	◇
第94次	◇ 40. 10. 25	◇	福田 赳夫
第95次	◇ 42. 3. 6	◇	水田 三喜男
第96次	◇ 42. 10. 25	◇	◇
第97次	◇ 43. 10. 30	◇	◇
第98次	◇ 44. 11. 20	◇	福田 赳夫
第99次	◇ 45. 10. 12	大蔵大臣代理 理財局長	相沢 英之
第100次	◇ 46. 10. 13	大蔵大臣	水田 三喜男
第101次	◇ 47. 10. 12	◇	植木 庚子郎
第102次	◇ 48. 10. 6	◇	愛知 揆一
第103次	◇ 49. 11. 6	◇	大平 正芳
第104次	◇ 50. 12. 3	大蔵大臣代理 大蔵事務次官	竹内 道雄
第105次	◇ 51. 11. 6	大蔵大臣	大平 正芳
第106次	◇ 52. 11. 12	◇	坊 秀男
第107次	◇ 53. 11. 18	◇	村山 達雄
第108次	◇ 54. 12. 1	大蔵大臣代理 大蔵事務次官	長岡 實
第109次	◇ 55. 11. 29	大蔵大臣	渡辺 美智雄
第110次	◇ 56. 11. 14	◇	◇
第111次	◇ 57. 10. 2	◇	◇
第112次	◇ 58. 10. 22	◇	竹下 登
第113次	◇ 59. 10. 27	◇	◇
第114次	◇ 60. 11. 9	◇	◇
第115次	◇ 61. 11. 15	◇	宮澤 喜一
第116次	◇ 62. 11. 28	◇	◇

回数	実施年月日	試験執行官	
		役職	氏名
第117次	昭 63. 11. 12	大蔵大臣代理 理財局長	足立 和基
第118次	平元. 11. 18	大蔵大臣	橋本 龍太郎
第119次	◇ 2. 11. 10	◇	◇
第120次	◇ 3. 11. 16	◇	羽田 孜
第121次	◇ 4. 10. 14	◇	◇
第122次	◇ 5. 11. 10	◇	藤井 裕久
第123次	◇ 6. 11. 21	大蔵大臣代理 大蔵事務次官	斎藤 次郎
第124次	◇ 7. 11. 29	◇	篠沢 恭助
第125次	◇ 8. 11. 27	大蔵大臣	三塚 博
第126次	◇ 9. 11. 17	大蔵大臣代理 大蔵事務次官	中村 正三郎
第127次	◇ 10. 11. 16	◇	谷垣 禎一
第128次	◇ 11. 11. 15	大蔵大臣代理 大蔵総括事務次官	大野 功統
第129次	◇ 12. 10. 30	大蔵大臣	宮澤 喜一
第130次	◇ 13. 10. 29	財務大臣	塩川 正十郎
第131次	◇ 14. 11. 18	財務大臣代理 財務副大臣	谷口 隆義
第132次	◇ 15. 10. 20	財務大臣	谷垣 禎一
第133次	◇ 16. 10. 25	◇	◇
第134次	◇ 17. 10. 24	◇	◇
第135次	◇ 18. 11. 6	◇	尾身 幸次
第136次	◇ 19. 11. 12	◇	額賀 福志郎
第137次	◇ 20. 12. 5	財務大臣代理 財務大臣政務官	末松 信介
第138次	◇ 21. 10. 15	財務大臣	藤井 裕久
第139次	◇ 22. 11. 22	財務大臣代理 財務副大臣	櫻井 充
第140次	◇ 23. 11. 21	財務大臣代理 財務大臣政務官	三谷 光男
第141次	◇ 24. 11. 12	◇	網屋 信介
第142次	◇ 25. 10. 28	財務大臣代理 財務副大臣	古川 禎久
第143次	◇ 26. 10. 27	◇	宮下 一郎
第144次	◇ 27. 11. 16	◇	坂井 学
第145次	◇ 28. 10. 24	◇	大塚 拓
第146次	◇ 29. 11. 27	◇	木原 稔
第147次	◇ 30. 11. 5	財務大臣代理 財務大臣政務官	伊佐 進一
第148次	令元. 10. 21	財務大臣代理 財務副大臣	遠山 清彦
第149次	◇ 2. 11. 9	財務大臣代理 財務副大臣	伊藤 涉
第150次	◇ 3. 11. 15	財務大臣代理 財務大臣政務官	高村 正大
第151次	◇ 4. 11. 14	◇	宮本 周司
第152次	◇ 5. 11. 27	◇	瀬戸 隆一